

コロナ対策、くらし・福祉など156項目

共産党市議団が新年度予算要望

日本共産党柏市議団は10月22日、秋山浩保市長に対して156項目の新年度予算要望を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大を収束させるための対策や体制の強化とともに、深刻化している雇用、地域経済、市民のくらし、福祉を守る政策、教育環境の充実等を市長に直接求めました。



アンケートなどで日本共産党に寄せられたみなさんの要望が、次つぎ実現しています。

改善された 高田小の通学路

やざわ英雄議員



子どもたちの登下校中の安全確保が課題だった高田小学校の通学路。長い間日本共産党の地域後援会が改善要望を市に届け、議会でも早期改善を求めてきました。整備工事はほぼ完了しました。

豊上町の交差点に右折用信号機

ひらの光一議員



豊上町のクリーニング店前の交差点に右折用の信号機がつけられました。毎年取り組んでいる日本共産党の予算要望で、地域の要求として実現を求めてきました。ひらの光一事務所に喜びの声が寄せられています。

2中前のバス停に 夜間照明

くさかみや子議員



地域の方から「国道16号線の柏2中前のバス停付近が暗くてバスの乗り降りや通行に困っている」との声が寄せられ、柏国道事務所に照明の設置を求め実現しました。「明るくなって安心」との声が寄せられています。

みどり台地域の市道が広がりました

わたべ和子議員



みどり台2丁目に隣接する市道は一部が砂利道で、車のすれ違いがやっとの道路でした。地域住民の粘り強い要望で、やっと拡幅工事が終わりました。

高柳駅263号 踏切が改善へ

武藤みつえ議員



9月議会で、「今年度中に踏切の幅員を10・5メートルに拡幅整備を行う。車両交互交通を可能にし、歩道を新設し、踏切道利用者の安全性の向上を図る。工事の安全対策については、教育委員会とも協議を行い、安全確保に十分配慮する」との答弁がありました。

コロナ禍のもと巨額の再開発強行か

柏駅西口、国・市の負担350億円

柏駅西口の高島屋や岡田病院を含む3・7ヘクタールのエリアで再開発事業の計画が進んでいます。近隣住民への説明会で、初めて「総事業費が1100億円から1200億円、3棟のタワーマンションは40階前後」と示されました。国と市の負担は350億円にもなると予想されます。いま

「コロナへの対応で財政が見通せない」として再開発事業を見直す自治体が増えています。

一人ひとりの子どもを大切に

いまこそ少人数学級を実現しよう

日本の1クラスあたりの平均在籍数は世界でも突出して多く、新型コロナ対策で社会

日本共産党は9月議会の質問で、事業概要や補助金などについて市民全体を対象にした住民説明会を開くこと、事業はいったん凍結し、少なくともコロナ禍のもと、拙速に進めるべきではないと主張しました。

求められるなか、少人数学級の距離の確保が求められ、一人ひとりに寄り添った教育が

を求める世論が大きくなっています。文部科学省も検討を始めた。

日本共産党は、秋山市長、河野教育長連名で、文部科学省に「少人数学級早期実現を求めるように」と質問しましたが、教育長は「現時点では考えていない」との答弁。日本共産党柏市議団が議会運営委員会に提案した「早期実現を求める意見書案」には、清風(自民系会派)と公明

党が反対しました。少人数学級実現に向け、これまで以上の取り組みを進めていきましょう。

核兵器禁止条約、来年1月に発効

批准国が50カ国を突破

暮らしの何でも相談

サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・ホームレス支援・生活保護・地域の要求。お気軽に何でもご相談！

- わたべ 和子 事務所 7178・5155
- くさかみや子 事務所 7164・6870
- ひらの 光一 事務所 7145・9672
- 武藤 みつえ 事務所 7170・6112
- やざわ 英雄 事務所 7193・8175

上記各事務所または04-7176-3711へ